

ふれあい No.40号

平成31年1月22日発行 第40号 発行 総合青山病院 (0533) 73-3777 印刷 株式会社印刷所

<http://www.aoyama-hp.or.jp>



青山医院開院 50 周年記念式典にて

新年をむかえ、ご挨拶させていただきます。
昨年2018年は、平昌オリンピック、サッカーワールドカップでの、日本代表の活躍など明るい話題が多くみられ、本年2019年には、ラグビーワールドカップが豊田市を含む全国各地で開催され、日本代表には前回のようないくつかの期待されています。また、2020年には東京オリンピックが予定されており、皆さん

第39回
医師からの
メッセージ

年頭のご挨拶

院長 小森 義之



も楽しみにしていることと思います。
一方、昨年には大雨、地震などの災害も多くみられ、東海地方に起こるといわれている南海トラフ地震も他人ごとではなく、いざというときの準備の必要性を個人でも病院でも実感しています。
一昨年は牧野理事長が青山医院を開院してから50周年となり、その後青山病院開設から約40年、総合青山病院と名称を変更して約20年、現在の病院へ移転して約10年の大きな節目の年となりました。また昨年10月には、以前より関係の深かった静岡県湖西市の医療法人浜名会と法人合併を行い、新たな医療法人宝美会として再出発いたしました。これで医療法人宝美会は豊川市に2病院（総合青山病院・豊川青山病院）、湖西市に1病院（浜名病院）・1施設（まんさくの里）を持ち、病床数は合計680床以上で、職員も1,000人を超える大きな医療法人となりました。医療、経済情勢の厳しい中で両法人が合併した意味は大きく、今後は人材

交流も含めてスケールメリットを生かした病院運営ができると思っています。また、当院と浜名病院には健診センターを併設しており、両地域の予防医療にも力を入れてまいります。今後も当院の理念である「患者さま側に立った全人的医療を目指します」を実践していき、地域の皆さまのお役に立てるよう一層の努力をまいります。



医療法人宝美会・浜名会 合併披露式典

麻酔科外来（麻酔科術前診察）

手術・中央材料室 看護師主任 山口 英邦

麻酔科術前診察

について

当院の麻酔科では、手術を受ける患者さまとご家族に対して、麻酔科医師が手術の前に診察を行い、麻酔についてわかりやすく説明を行っています。目的は、麻酔に対する不安を和らげ、良い身体状態で手術に臨んでいただくことです。入院中に手術が必要な場合も、病棟で麻酔科医師による診察を行っています。

手術を受けるには、薬剤を使用して痛みを消す、意識を無くす、人工呼吸器で呼吸を管理するなど、様々なことが必要になります。その為に麻酔科診察では、過去に治療していた病気、現在治療している病気や服薬中の薬、以前の手術経

験やその時の経過（吐き気などの気分不快の有無や創部の痛みの程度）などについてお話を伺います。また、心電図・レントゲン・心機能・呼吸機能・血液検査の結果を踏まえ、最も適した麻酔方法をご提案しています。

心疾患や糖尿病など、手術前に身体状態を整える必要がある場合は、それぞれの専門医に診察・治療を依頼して、麻酔・手術に備えています。

私達手術室の看護師は、患者さまとご家族が安心して、かつ安全に麻酔・手術を受けられるように、術前の情報を共有しています。



喫煙について

麻酔科外来では、喫煙している方に禁煙指導を行っています。喫煙が与える影響は様々あります。麻酔後や手術後の心臓と肺への負担、手術の創部が治りにくいなど、いろいろな合併症があります。禁煙期間が長いほど良いですが、最低限、手術が決まりましたらすぐに禁煙をしましょう。

術前診察の 看護師の役割

術前診察時は、患者さまやご家族が緊張せずに話しやすい雰囲気を作り、専門用語を使わずわかりやすい言葉で声掛けをしています。



当院手術室では安全を第一に、日々努力し、安全で質の高い麻酔・手術を目指しています。

医療ガスについて

臨床工学会 主任 飯見慶一

医療機関において酸素は、患者さまの“命”に直結した生命維持ガス(Life Support Energy Gases)と一言で表すことができます。また、在宅酸素療法では、患者さまの生活の質を維持、向上させるQOLガス(Quality of Life Gases)と言えます。つまり、酸素は、患者さまの命に直接関わり、しかも、それに代わるものがない、かけがえのない医薬品です。

用として多く使われるようになったのは、世界に猛威を振るい、膨大な数の死亡者が出たスペイン風邪の流行時(1918年〜20年)です。そのときから酸素への関心が急激に高まりました。1932年、「日本薬局方」への収載後、医療における酸素の消費量が増加するようになりました。

当院においても「医療ガス」は酸素以外に、二酸化炭素、亜酸化窒素、圧縮空気、吸引(陰圧ガス)、酸化エチレン、ヘリウム、アルゴンなどを使用しており、患者さまの治療や検査、診断などに使われており、患者さまの生命を守るために欠くことができません。

「医療ガス」はこのように種類が多様であるだけでなく、性質も可燃性、可燃性、毒性と多様であり、これらを使用するには安全かつ災害の起こらぬよう

正しい知識、堅実な取り扱い、管理が必要です。

病院において、麻酔器、人工呼吸器等を設置し、医療ガスを使用して診療を行う場合には、「医療ガス安全管理委員会」を設置して、医療ガスに係る安全管理のための体制を確保するよう省令で定められています。当院でも、「医療ガス安全管理委員会」が設置されており、委員会を開催して「医療ガス設備の保守点検」や「医療



左:酸素ボンベ 右:二酸化炭素ボンベ



配管末端器

左:酸素 中:圧縮空気 右:吸引



ガスに係る安全管理のための職員研修を行っています。患者さまが安全で安心して「医療ガス」を使用できるように、私もその委員会の一員として貢献できればと思っています。



石黒センター長



菅沼副センター長



第35回

職場 紹介

透析・血液浄化センター

透析・血液浄化センター主任 福井千咲香

今回は透析・血液浄化センター（透析センター）の紹介をします。

現在約60名の患者さまが血液透析を行っています。外来・入院透析、透析導入から終末期まで、様々な患者さまに対応しています。

透析センターには透析担当医2名、看護師8名、臨床工学技士5名、介護福祉士1名と、様々な職種がそれぞれの専門性を持った業務を行っています。血液透析の開始と終了、透析中のバイタルチェックは看護師・臨床工学技士で行います。その他に、看護師は透析中の注射薬・点滴の準備や実施、医師の診療の補助を行っています。また、透析患者さまの食事や日常生活上の指導も行っています。臨床工学技士は機械のメンテナンスや血液透析に使用する透析液の水質管理等を行っています。

す。そして、介護福祉士は患者さまの移送や環境整備を行っています。

血液透析とは腎臓が悪くなり、身体の中に老廃物や余分な水分が貯まってしまう慢性腎臓病の患者さまに対して行う治療です。腕に針を2本刺し、一方から血液を取り出しダイアライザと呼ばれる人工腎臓を通して血液を浄化します。そして、浄化された血液をもう一方の針から身体の中へ返します。血液透析は1回3〜4時間、週に3回行うのが基本です。

透析患者さまは腎移植を受けない限り血液透析という治療を続けなければなりません。針を刺す痛みや時間の拘束、水分や食事の制限のあるこの治療を好んで行っている患者さまはおそらく一人も存在しないと思います。そんな血液透析を『どうせやるなら総合青山病院が

いい』と言っていただけに、元気で明るく何でも話しやすい雰囲気づくりを大切にしています。そして、安心安全な透析治療を提供できるよう日々努力して参ります。



知っ得!! 情報

第37回

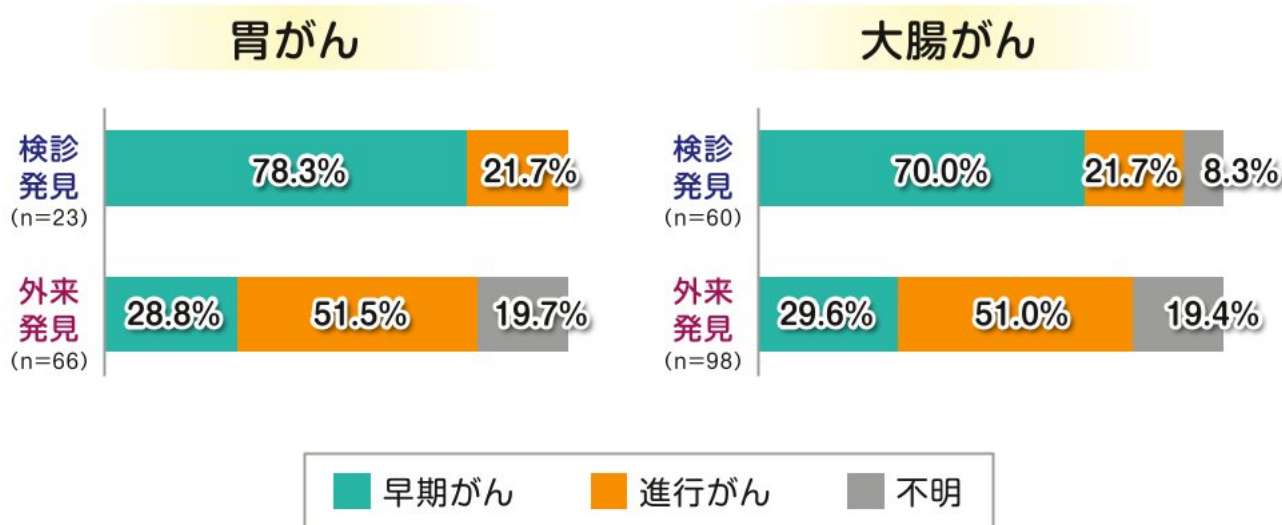
がん検診を受けましょう!

診療情報管理室 主任 大井 麻由美

現在、日本国民の2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで亡くなっていると言われています。また、がんは死因第1位でもあり、国民病と言っても過言ではない状況下にあります。

下のグラフは、平成28年1月から平成30年10月までに、当院で胃がん・大腸がんと診断された患者さまを発見の経緯別で分け、発見時のがんの進行度を分析した結果です。

胃がんでは、検診発見は8割近くが早期がんなのに対し、外来発見は半数以上が進行がんでした。大腸がんにおいても、検診発見は7割が早期がんなのに対し、外来発見は半数以上が進行がんです。



図：当院におけるがん発見時の進行度（平成28年1月～平成30年10月）

がん検診は、自覚症状がない状態で行われるため、早期がんや予備軍を発見することができます。しかし自覚症状があって外来受診して発見されたがんは、進行していることが多く、治療方法が限られてくる場合があります。

がん検診はがんの早期発見・早期治療のために最も有効な方法です。ご自身の健康のために、がん検診を積極的に受けましょう！

健診のお知らせ

もっと健康。ずーっと元気。



1年に1度は
健診を受けましょう。



健診センター
ホームページ
詳細はこちらへ

総合青山病院 健診センター 問合せ ▶ ☎ 0533-73-3784

遊びの広場

数独の 解き方



1. タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1～9までの数字が1コずつ入ります。
 2. 太線で区切られた3×3の枠内(マスは9コ)にも1～9までの数字が1コずつ入ります。
 3. 従って、タテ、ヨコ、枠内で、同じ数字が重複して入ることはありません。
- とにかく、算数無用、注意力の勝負、なるべくラクをして、かつスマートに解いていきましょう。

答えは8ページ目をご覧ください。

1								3
	9						4	
			5	6	7			
9				7				1
	2			9			6	
		4				5		
5			9		3			8
	6						2	
		9				4		

第3回

栄養のチカラ

旬の
レシピ

白菜のあつたかスープ

管理栄養士が考える、栄養に配慮した
体に良いレシピや栄養情報をお届け
します。



材 料 (2人分)

白菜	2枚
長ネギ	1/4本
ウインナー	2本
油	少々
水	300ml
生姜チューブ (又はすりおろし生姜)	3cm
鶏ガラスープの素	大さじ1/2
醤油	小さじ1/2
塩	適量
片栗粉	大さじ1/2 (+水大さじ1)

作り方

- 1 白菜・長ネギ・ウインナーを食べやすい大きさに切る
- 2 鍋に油を入れ、1の材料を軽く炒め、水・生姜・鶏ガラスープの素・醤油を入れる
- 3 材料に火が通ったら塩で味を調え、片栗粉でとろみをつける

アレンジ アイデア

お好みで黒胡椒をふったり、ウインナーを鶏肉やエビ、水を豆乳や牛乳に代えるなど、いろいろアレンジできます。

寒い日は温かい生姜のスー
プで体を温めましょう。生妻
には血行を促進する成分シヨ
ウガオールがあり、加熱によ
りさらに体を温める効果が高
まります。

今回は冷蔵庫にある材料で
作れる時短メニューにもなっ
ています。朝食にもおススメ
です。

第45回院内コンサート



和太鼓 コンサート

10月20日(土) 外来ロビーにて、わ太鼓「咲楽」の皆さまによる、和太鼓コンサートが開催されました。曲目は「咲楽」「暁」「戦国川中島」などで、大迫力の和太鼓の音に圧倒されるとともに、たくさんのエネルギーを頂きました。

和太鼓演奏の中で、突然とじょうすくい踊りが始まり、表情やストーリー性が豊かでこちらまで笑顔になりました。日本の文化を感じることのできる迫力ある和太鼓の演奏は、老若男女問わず、いつ聴いても元気がでるもので、会場全体の皆さまの心が一つになるのを感じました。

わ太鼓「咲楽」の皆さま、素敵な演奏をありがとうございました。

広報委員 岡本 梨沙

第46回院内コンサート



バグパイプコンサート

12月8日(土)、例年より長く続いた暖かい日が終わり、肌寒さにまだ慣れないこの日、当院では初めてとなるバグパイプコンサートが外来ロビーにて開催されました。

バグパイプとはスコットランドの伝統楽器で、キルトという伝統衣装を身にまとい奏でられる独特の音色が特徴です。演奏者は80歳と伺いましたが、演奏する姿は凛々しく、バグパイプの音色も高音から低音まで澄み切った音色が胸に心地よく響いてきました。

曲目はスコットランドの伝統的な曲や日本の赤とんぼなど、バグパイプの演奏を堪能させていただき、観覧していただいた皆さまも手拍子をされたり、演奏に合わせて歌う姿も見られました。

広報委員 梶村 明弘

お褒めの言葉

初めて受ける胃がん健診でバリウムを飲むことや、色々な不安でいっぱいでも何度も同じことを尋ねてしまっても、親切な対応でとても助かりました。

施設も清潔で、飲み物のサーバーも設置されていて嬉しいです。また利用したいと思います。

健診センター 利用者さま

温かいお言葉をありがとうございます。今後も受診者さまに思いやりを持って対応できるよう、職員一同邁進してまいります。

ご意見

車を運転できないため、巡回バスを利用していますが、御津駅まで来ることはできないでしょうか。

外来 患者さま

ご意見ありがとうございます。

検討した結果、御津駅まで経由する順路にした場合、今まで以上に時間がかかってしまうため、運行本数を減らして対応せざるを得ません。

今後も検討させていただきますが、今回はご要望にお応えできず、大変申し訳ございません。

たくさんのご意見ありがとうございます。

ふれあい箱の回答



情報STATION

Aoyama Hospital Information Station

第35回 公開講座

テーマ おいしく食べ続けるために
～お口の健康、食事、お薬の関係～

日時 平成31年 2月16日(土) 13:30～ 参加 自由(無料)

場所 総合青山病院5階 講義室 お問い合わせ TEL 0533-73-3777

講師

総合青山病院
歯科口腔外科
おださやか
小田 紗矢香
(協力)栄養管理室、薬局



第47回 院内コンサート

参加
自由(無料)

小坂井高校吹奏楽部コンサート

日時 平成31年 3月16日(土) 14:00～

場所 総合青山病院1階 外来ロビー

遊びの広場の解答

1	7	6	2	4	9	8	5	3
2	9	5	3	8	1	7	4	6
4	3	8	5	6	7	9	1	2
9	5	3	6	7	4	2	8	1
7	2	1	8	9	5	3	6	4
6	8	4	1	3	2	5	9	7
5	4	2	9	1	3	6	7	8
3	6	7	4	5	8	1	2	9
8	1	9	7	2	6	4	3	5

編集後記

あけましておめでとうございます。

【ふれあい40号】をお読みいただきありがとうございます。皆さま方におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、平成最後の年末年始皆さまどのように過ごされましたか？故郷に帰省したり、一家団欒楽しい時を過ごされたことでしょうか。

今年もイノシシのように嗅覚を研ぎ澄まし、患者さまのために最善の対応をかぎ分けてまいります。そして、お一人おひとりに丁寧な対応を心がけ、患者さま側に立った医療の提供に努めてまいります。

皆さま、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

1. 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
2. ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
3. ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
4. ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
5. 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
6. ご自分の診療録の開示を求める権利を有します